

東北信L-CDEの

わ

東北信地域糖尿病療養指導士ニュース

2012.6.1発行



この4月1日より、日常臨床においてはHbA1cが国際標準化されました。これまでのJDS値は世界に先駆けて精度管理や国内での標準化が進んでいましたが、我が国以外のほとんどの国ではNGSP値が使用されており、JDS値はNGSP値より約0.4低いという問題がありました。国際標準化により、著作、論文などにおける外国とのギャップは解消されましたが、患者さんの立場に立つとどうでしょうか。これまでHbA1c 6.0 (JDS) は6.4 (NGSP) となります。さらに、保健指導の分野ではしばらくの間JDS値を使用することも決まっており、混乱が危惧されています。こんな時、頼りになるのは患者さんに最も近い糖尿病の専門家、地域糖尿病療養指導士の皆さんです。新しい情報と技術を身につけ、より良い糖尿病のアドバイザーとなってください。

今年度は第5期生の認定講習とともに第1期生の更新講習が始まります。研修単位の確認、症例レポート、活動レポートなど、準備を始めましょう。 【水野 稔子】

contents

- ・2011東北信世界糖尿病デー記念イベント報告
- ・スキルアップ研修会のお知らせ
- ・東北信地域糖尿病療養指導士
「認定更新手続き」と「更新要件の一部改定」
- ・第1回糖尿病フォーラムin上田
- ・事務局より
- ・ホームページリニューアルのお知らせ

【広報委員会】 水野 稔子 松井 浩子 長岡 光
依田 善教 岩崎 亮

2011東北信世界糖尿病デー記念イベント報告

東北信地域糖尿病療養指導士育成会会長 仲 元 司

増加の一途をたどる糖尿病に対し全世界が団結しようとの決議が2006年12月の国連において採択され、それを受けて11月14日が世界糖尿病デーと定められました。この日は20世紀最大の医学的発見と言われるインスリンの発見を成し遂げたフレデリック・バンチング博士の誕生日です。空の青を表わすシンボルマークのブルーサークルにちなんで2007年から毎年世界各地の記念建造物がブルーにライトアップされ、長野県でも、これまで松本城や善光寺などがブルー・ライトアップされてきました。

今年は長野県糖尿病対策推進会議で東信地区を盛り立てることとなったため、新幹線佐久平駅のライトアップ・イベントを企画しました。主催は対策推進会議、共催として佐久医師会(SDネット)、東北信L-CDE育成会、県糖尿病協会東信支部が名を連ね、これらのメンバーからなる実行委員会が組織されました。とは言え企画の中心となり、また、実働部隊として動くのは、やはりL-CDEです。7月から11月まで毎月、合計5回に及ぶ実行委員会を開催、メインテーマは「ストップ糖尿病」と決まりました。

さて、イベント当日は17時30分よりJR佐久平駅薬科口駅前広場にてライトアップ・カウントダウンセレモニーが始まりました。ブルーのスポットライトと青いLEDライトで美しく飾り立てられた佐久平駅の壁や階段、テラスが幻想的に浮かび上がりました。セレモニーの後、ブルーの蛍光スティックを持った観客たちを、同じくブルーの蛍光スティックで両側を囲まれた道が勤労者福祉センターまで導き、まるで銀河のようでした。

18時より佐久勤労者福祉センターにて記念講演会「知って得する糖尿病」を開催しました。司会は佐久穂町立千曲病院小林先生、講師は佐久総合病院大橋先生と私が担当しました。講演会はクイズ形式で高得点者には景品を用意したので、大いに盛り上がりました。終了後には「糖尿病なんでも相談」、さらに入り口での糖尿病弁当試食(レストラン・ブランカン協力)と盛り沢山の企画でした。この他にも朝からJR佐久平、長野、上田、軽井沢各駅での啓発活動や駅での血糖測定なども行なわれ、東北信の主な病院、診療所から100名を超えるスタッフが揃いのブルゾンを着て応援に駆けつけてくれました。セレモニーには100名近くの観客が参集、講演会には予想を上回る200名以上の聴衆が参加してイベントは大成功でした。しかし、それより何より、これだけ大勢のL-CDEのメンバーが医療機関や職種の枠を超えて、ひとつの目的のために協力し合ったことこそがイベントの最大の意義ではなかったかと考えています。

ご協力くださった皆さん、本当にご苦労様、そしてありがとうございました！



お知らせ

平成24年度 スキルアップ研修会

ホームページURL
<http://www.th-lcde.jp/>

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
日 程	7月29日(日)	8月26日(日)	9月23日(日)	10月28日(日)	11月25日(日)
場 所	浅間総合病院	長野赤十字病院	上田薬剤師会館	篠ノ井総合病院	浅間総合病院
内 容	食事療法	食事療法	食事療法	運動療法	SMBG

本年度より、参加登録は東北信地域糖尿病療養指導士育成会ホームページから行ないます。受付開始は6月15日頃を予定しています。各回とも定員に達し次第締め切ります。ホームページから申し込みのできない方は最寄りの理事または事務局へお問い合わせください。

東北信地域糖尿病療養指導士「認定更新手続き」と「更新要件の一部改定」についてのお知らせ

東北信地域糖尿病療養指導士育成会が交付する認定証の有効期間は5年間です。

認定更新を希望する方は、認定期間中に下記の認定更新の要件を満たし、更新申込期間に必要な書類をまとめ事務局に提出してください。なお、更新の要件については、平成22年度と平成23年度の育成会主催のスキルアップ研修会および講演会の参加者数等を考慮し、定例理事会にて一部改定することが決まりました。ご確認をお願いいたします。

特に、認定証有効期間が「2009.4.1～2014.3.31」の第1回合格者の方は、今年度もしくは来年度行われる育成会主催の育成講習会参加が重要(必須要件に含まれる)になります。更新までの日程を考慮し、余裕をもって研修会・講習会に参加して、更新の準備を確実に進めましょう。

＜更新手続き＞

I 認定更新の基本方針

5年間の活動成果を評価するとともに、L-CDEとしての資質を維持し、その向上を図る目的で、療養指導事例の提出・地域活動レポート・育成講習会の再受講を全員に義務づけます。事例評価の目的は合否の判定ではなく、L-CDEとしての活動とその評価を重視するものです。

II 認定更新の要件

資格取得後5年間のうち最低2年間は東北信地域の糖尿病療養指導に従事していること(所属長の証明で可)。

東北信地域糖尿病療養指導士育成会の認める研修会・研究会・学会などに参加し、5年間で15単位以上を取得していること。ただし、育成会主催のスキルアップ研修会に5年間で2回以上、育成会主催の講演会に5年間で1回以上の出席を必須とします。

5年間で5症例分の療養指導のレポート、および自分が地域のために行なった活動についてのレポートを提出すること。

更新年度または更新前年度に東北信地域糖尿病療養指導士育成会が主催する育成講習会について、単年度に5回のうち4回以上の出席をしていること。

注)第1回合格者は……
2012年～2013年開催、または2013年～2014年開催のいずれかの育成講習会に出席すること。

III 認定更新の手続き

1 申請方法について

(1)申込期間:2014年3月1日～2014年3月31日
(第1回認定試験合格者)

(2)申請書類:以下の書類を整えて提出してください。

①単位取得証明書(受講証明カード・黄緑色)

※日本糖尿病学会学術集会、糖尿病学の進歩出席の場合は参加証のコピーを受講証明カードの(規約・注意事項)の欄に、早い順位に重ねて貼付してください。

※糖尿病診療—最新の動向～医師・医療スタッフ向け研修講座～に出席の場合も参加証のコピーを受講証明カードの(規約・注意事項)の欄に、早い順位に重ねて貼付してください。

②業務従事証明書

③認定更新申請書

④糖尿病療養指導自験例の記載用紙No.1～No.5

⑤地域活動業績レポート

⑥育成講習会の受講証明カード(A4の専用用紙に貼付)

⑦審査料振込み控えのコピー(A4の専用用紙に貼付)

《注意事項》

- 受講証明補助カードは申請には無効です。申請までに受講証明カードとともに育成会主催の研修会等に持参し証明捺印をして貰ってください。
- 業務従事証明書については、申請段階で所属する施設の病院長もしくは各所属の上司(長)による証明をお願いします。休職中などの場合は、過去の職歴(活動歴)や所属施設を記入してご提出してください。特別な証明は必要ありませんが、認定更新の条件にあたるか審査させていただきます。
- 地域活動業績レポートについては、どんな身近なことでもかまいません。(患者会や市民フォーラムの参加報告など)

2 認定審査料について

(1) 認定更新審査料は、2,000円です。指定の銀行に振込み、申請の際に振込金受領書のコピーを所定の用紙に貼付してください(自動振り込みの場合、ご利用控えのコピーで可)。

振込先	八十二銀行 岩村田支店 普通 798749 東北信地域糖尿病療養指導士育成会
-----	--

(2) お支払いいただいた審査料は、認定更新が認められない場合など、いかなる場合でも返却はできませんのでご了承ください。

3 審査結果について

5月中旬ごろまでに通知します。認定更新の条件を満たしているとは認められなかった場合(単位数不足、「事例記載」不備*など)は、別途通知いたします。

※「糖尿病療養指導自験例の記録」の審査では、再提出を求められる場合があります。この場合は、期限までに再提出をされないと資格が失効しますのでご注意ください。

4 認定期間延長申請について

(1) 特別な事情*があり認定更新の条件を満たせない場合は、認定期間延長の申請ができます。

※特別な事情:①出産、育児、介護休暇
②病気などによる休職
③異動、進学
④国内外留学、長期出張
⑤離職中
⑥その他(単位数の不足の場合も含み、具体的に記入してください)

(2) 申請時期:2014年1月1日~2014年1月31日
(第1回認定試験合格者)

(3) 申請方法:以下の書類を整えて提出してください。
認定更新延長申請書

(4) 審査結果:3月中旬ごろまでに通知します。
認定期間延長が認められた場合、延長期間は1年間です。
認定期間延長が認められなかった場合(「特別な事情」があると認められない場合は、「東北信地域糖尿病療養指導士」の資格は失効します。

(5) 認定期間延長が認められた方は、翌年度にあらためて認定更新または認定期間延長の申請をしてください。

(6) 認定期間延長の申請は、一認定期間に2回まで認められます。(延長期間は最長2年まで)。認定更新延長申請の際は、認定更新料の振り込みは不要です。

IV 単位申請

東北信糖尿病療養指導士認定更新に関わる認定講習単位となるものは以下のとおりです。

- 1 以下の学術大会・研修会
 - 日本糖尿病学会学術集会 4単位 地方会は2単位
 - 糖尿病学の進歩 4単位
- 2 育成会主催の研修会・講演会
 - *1 スキルアップ研修会
必須単位とし、5年間で2回の出席
 - *2 講演会
必須単位とし、5年間で1回の出席
- 3 県内で行われる研究会・研修会
 - 東信地区糖尿病スタッフ研究会
 - 信州糖尿病研究会
 - 上田市糖尿病研究会
 - 長野県糖尿病療養指導研究会
 - 長野県糖尿病懇話会
 - SDNet特別講演会
 - 北信糖尿病カンファレンス
 - 北信糖尿病スタッフ研究会
 - 東北信合併症治療研究会
- 4 県外で行われる研修会
 - 糖尿病診療—最新の動向
~医師・医療スタッフ向け研修講座~

※2、3、4については実施時間により取得単位数が異なります。

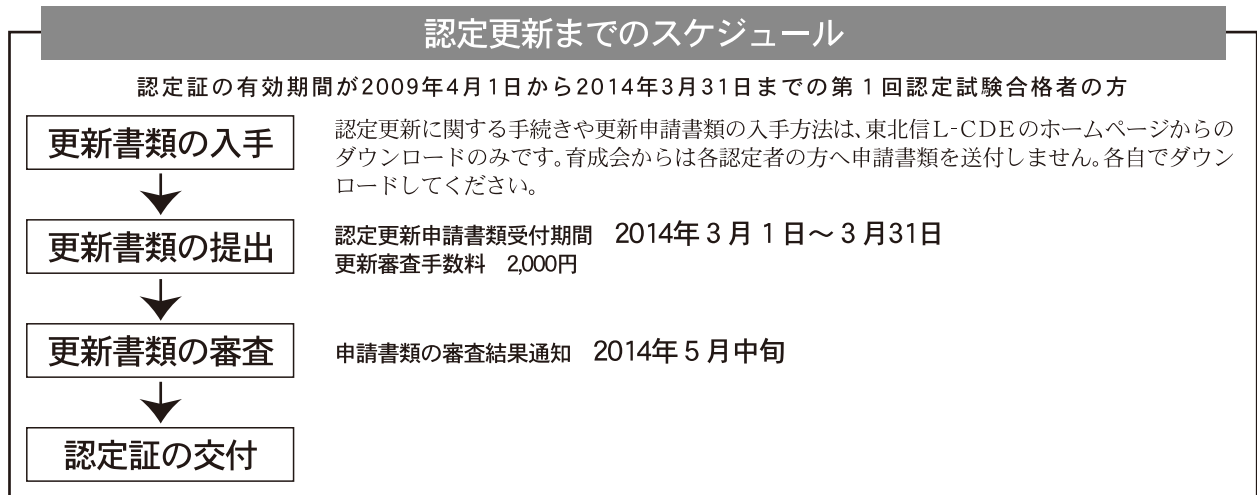
※3時間未満の会は1単位、3時間以上1日までは2単位です。

※年度はじめに周知する研修会の案内にて、単位を認める研修会が増えることがあります。

配布される案内やホームページの案内を十分に注意して確認の上、単位取得を行なってください。

<更新手続きのポイント>

受付期間内に更新手続きをしない場合は、認定証の有効期間である2014年3月31日をもって資格は失効となります。何らかの事情で受付期間内(2014年3月1日～2014年3月31日)に更新手続きができない場合は認定期間延長申請の手続きを2014年1月1日から2014年1月31日までに書類を整えて事務局へ提出してください。



<単位取得に関する注意点>

年度ごとに、研修会・講演会等の周知があります。各自で計画的に予定を立て、受講単位取得に努めてください。なお、更新認定の必須単位取得には注意が必要です。

<必須単位取得の具体的日程および項目>

- 育成会主催の研修会 年度内5回開催(必須:5年間で2回以上)
- 育成会主催の講演会 年度内1回開催(必須:5年間で1回以上)
- 東北信地域糖尿病療養指導士育成講習会(必須:更新年度または更新前年度)

参考 (平成24年度)	必須研修会・講習会	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	育成会主催 研修会	○	○	○	○	○				更新 手 続 き
	育成会主催 講演会	○								
	育成講習会			○	○	○	○	○		

※開催日程については、各年度で異なりますのでホームページで確認してください。

研修会・講習会の日程を把握して、取得漏れのないようにお願いいたします!!

研修会情報は「東北信L-CDEホームページ」にも随時掲載されますので、定期的に確認してください。

また、県内で行なわれる研究会や日本糖尿病学会関連の学術集会・研修会などは、各ホームページ上で案内を確認してそれぞれの主催者にお問い合わせください。

お問い合わせ

東北信地域糖尿病療養指導士育成会事務局

〒385-8558 長野県佐久市岩村田1862-1 佐久市立国保浅間総合病院 臨床検査科内(担当:森本光俊)
TEL:0267-67-2295(代表) FAX:0267-67-4920 E-mail:nfo@th-lcde.jp

申請に関する資料はホームページからダウンロードできます。

<http://www.th-lcde.jp/>

第1回 糖尿病フォーラムin上田

主催：東北信地域糖尿病療養指導士育成会
共催：上田市、上田市医師会、信州上田医療センター
後援：小県医師会、上田小県歯科医師会、上田薬剤師会、上田商工会議所

平成24年7月1日(日) 上田市文化センター 健康プラザうえだ

講演会：上田文化センター

10:00-12:00 東北信 L-CDE 講演会 (東北信 L-CDE 1単位が取得できます)

「糖尿病合併症とは 腎臓・眼・神経障害の話」

信州上田医療センター 内科医長 田中 征雄 先生
佐久総合病院 代謝内分泌部長 大橋 正明 先生

13:30-16:00 市民公開講座 (東北信 L-CDE 1単位が取得できます)

座長：信州上田医療センター院長 森 哲夫 先生

「楽しく学べる糖尿病クイズ」

佐久市立国保浅間総合病院 地域医療部長 仲 元司 先生

「糖尿病 - 予防と治療のための生活の知恵」

日本糖尿病協会理事長 清野 裕 先生

イベント：健康プラザうえだ

11:00-13:30 血糖値などの測定・食事・運動・フットケア・お薬・相談などのコーナーを予定

ボランティア スタッフ 大募集!!

当日、お手伝いしていただける方は、お名前・L-CDE 番号・職種をメールにてご連絡ください。

小諸高原病院 薬剤科 水野
(mizunot@komoro.hosp.go.jp)

★託児あり
締め切り 6/22

【お申し込み先】
上田市健康推進課

0268-28-7123

1歳以上のお子さんで先着8名までです。
託児時間は相談により調整させていただきます。

◆ 事務局より

東北信地域糖尿病療養指導士育成会 事務局長 森本 光俊



東北信地域糖尿病療養指導士の皆さん、平素は当育成会の活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

3月に実施された認定試験の結果と書類審査、5月の理事会を経て、新たに64名のL-CDEが誕生しました。第1回から第4回の合計認定者は452名となりました。

昨年の世界糖尿病デー記念イベントは、所属施設や職種の枠を越えご協力いただき、素晴らしいイベントになりました。今後も横のつながりを大切にして地域のために活動を広げ、L-CDE一人ひとりの皆様に主体的に関わっていただきたいと思えます。気軽にホームページ上の「L-CDEの広場」に書き込みをいただければ幸いです。

登録住所に育成会からの郵便物が届かず、返送されてくる認定者の方がいらっしゃいます。登録情報の変更があった場合は、ホームページ上から変更メールをお願いいたします。

◆ ホームページリニューアルのお知らせ

● 新しい「低血糖・シックデイマニュアル」をアップ!!

GLP-1 製剤、DPP-4 阻害薬などを加え、さらに使えるマニュアルになりました。

● トップページに「L-CDEの方」と「受験希望の方」のボタンを追加!!

講演・研修会のお知らせ、認定更新のご案内、認定講習会・試験のご案内にアクセスしやすくなります。今年度から、スキルアップ研修会の申し込みもここからできます。

● 「L-CDEの広場」 会員同士の交流に、疑問の相談に活用しましょう。

URL <http://www.th-lcde.jp/>

E-mail info@th-lcde.jp



東北信地域糖尿病療養指導士育成会